

製品名: 嗅覚受容体 5P2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15299**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	OR5P2
別名	
遺伝子 ID	120065.0
SwissProt ID	Q8WZ92/Q3MIS8
免疫原	抗血清はヒト OR5P2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 193-242

背景

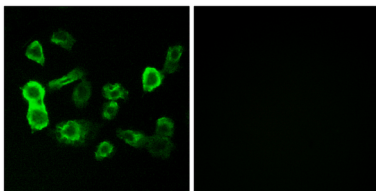
嗅覚受容体ファミリー 5 サブファミリー P メンバー 2 (OR5P2) ホモサピエンス嗅覚受容体は鼻の中で嗅覚分子と相互作用し、匂いの知覚を引き起こす神経反応を開始します。嗅覚受容体タンパク質は、単一のコーディングエクソン遺伝子から生じる G タンパク質

共役受容体 (GPCR) の大規模なファミリーのメンバーです。嗅覚受容体は、多くの神経伝達物質受容体やホルモン受容体と 7つの膜貫通ドメイン構造を共有し、嗅覚シグナルの認識と G タンパク質を介した伝達を担っています。嗅覚受容体遺伝子ファミリーはゲノム中で最大です。この生物の嗅覚受容体遺伝子とタンパク質に割り当てられた命名法は、他の生物とは独立しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能：嗅覚受容体 (潜在的)。味覚に関与している可能性があります。、その他:ここに示す配列は、EMBL/GenBank/DDBJ サードパーティアノテーション(TPA)エントリから取得されています。、類似性:G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。、組織特異性:舌で発現します。、

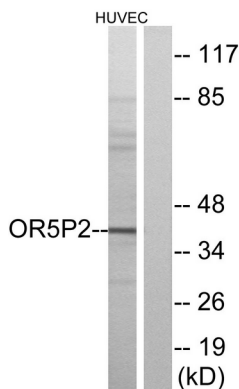
研究分野

嗅覚伝達;

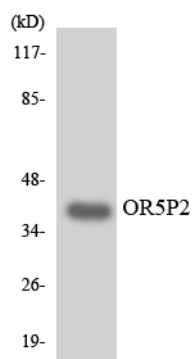
画像データ



OR5P2 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



OR5P2 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



OR5P2 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。

嗅覚受容体 5P2 ポリクローナル抗体を用いた HUVEC 細胞のウェスタンブロット解析

